



北海道議会議員

ただひろ

がんばろう
小樽・北海道

佐藤 禎洋

令和 2 年 7 月号

発行/佐藤禎洋 政務調査室

第 2 回定例会・予算特別委員会、小樽等の課題について質す

主な一般質問

①小樽看護専門学校について

少子化の影響で、全道的に准看護師養成校の数が減り、定員数も減少していると承知しているが、看護師不足の状況が続く中、後志圏域における看護師確保に向けて、進学先となる養成校の確保は必要と考えるが、小樽看護専門学校の閉校について道の見解は。



【 保健福祉部長 】

道では、民間養成施設に対して、運営費や設備整備費の支援を行っている。地域に、准看護師の方々が働きながら、看護師になるために学べる場があることは学生にとって望ましいものと考えており、継続できるよう、小樽市と連携を図っていく。

②道産食品の販路拡大について

新型コロナウイルスの影響により、今年の春に全国で予定されていた北海道物産展は中止となり、道内食関連事業者は販路の消失や縮小を余儀なくされ、厳しい状況に置かれている。今後、新北海道スタイルを実践しながら、どのように地域の食関連事業者の販路確保を支援していく考えなのか。

【 知事 】

道内地域において消費喚起を図ることが重要と考えており、振興局を通じ市町村と連携を図りながら、地域の食関連事業者(小樽物産協会など)を支援していく。



予算特別委員会第1分科会での主な質問・答弁

【 配偶者暴力被害者対策の充実について 】

DV被害者対策は様々な分野における女性の活躍を促進する上で欠かせない取組であります。道は、配偶者暴力被害者対策にどのように取り組み、女性活躍社会の実現を図っていく考えなのか。

【 環境生活部長 】

DV被害者のニーズを踏まえながら、若年層がアクセスしやすい相談体制や、多様な被害者に対応できる一時保護施設の整備、今般の新型コロナウイルス感染拡大などの場合にも迅速かつ適切に対応できる環境づくりを進めるなど、DVの根絶に向けた取組を進める。



【 道の財政運営について 】

今年度で終了する現行の行財政運営方針に代わる、新たな方針を進めていると承知しているが、国の動向、更には、感染症の影響やそれへの対応などを十分に踏まえて、今後の財政運営のあり方を検討する必要があると考える。

道は、今後、どのように検討を進めていくのか。

【 総務部長 】

骨太の方針、中長期の経済財政に関する試算、来年度の地方財政対策など、国の動向を踏まえ、今年度の道税収入の状況、今後の感染症対策の展開方向なども踏まえつつ、今後の財政運営を進める。



第2回定例会追加提案補正予算・コロナ緊急対策

追加提案補正予算 **3,677億6,759万5000円**を可決！！